

墨田区議会 新しいすみだ会派報

◎令和5年 第1号 Vol.19
◎発行：墨田区議会新しいすみだ

墨田区議会議員

井上ノエミ

■ 会派代表 井上ノエミからのご挨拶

本会派報では、令和4年度の墨田区議会における会派「新しいすみだ」の活動をご報告します。

3年間続いている新型コロナウイルス感染症は依然予断を許さない状況ですが、この間多くの区民の皆様はたいへん厳しい生活環境に置かれてきました。区民の皆様の生命と生活を守り、皆様が安心して暮らせる墨田区を実現するために、本年も全力で区政の改革に取り組んでまいります。特に、皆様の税金が本当に区民のために使われる様に、巨額な費用が必要になるトリフォニーホールの改修事業にもメスを入れていきます。是非、ご一読ください。

オミクロン対応のワクチン接種が開始!!

これまで実施されてきたコロナウィルス株対応のワクチンに加えて、オミクロン株にも対応するワクチンなので**2価ワクチン**と呼ばれています。このワクチンはより多様な新型コロナウイルスに対応することが出来て従来型ワクチンを上回る効果が期待できると考えられています。墨田区では昨年10月よりファイザー製及びモデルナ製の**オミクロン株対応2価ワクチン**の接種を始めています。すでに区内の65歳以上の高齢者の49パーセントが接種を済ませています。(12月4日時点)なお、対象は12歳以上、すでに2回以上のワクチン接種を完了して、前回接種から3ヵ月が経過している区民です。

トリフォニーホールの改修に50億円以上か？

墨田区では、錦糸町のトリフォニーホールの老朽化に伴い改修事業を行う計画です。当初の見積もり金額は30億円でしたが、現在では50億円です。円安による輸入材料の値上がりなどで改修費は更に増えるでしょう。墨田区の区民税の収入は年間250億円程度ですから、区民にとっては大きな負担になります。コンサートの利用者の80パーセント以上が墨田区民以外である施設です。改修費の削減は区政にとって重要な課題です。

令和4年11月29日 墨田区議会定例会 一般質問

井上 トリフォニーホールはバブル期に計画されたバブル経済の遺物とも言える。多くの自治体では作った施設の維持管理費に困り廃止になった施設も多い。トリフォニーホールは素晴らしい施設だが、改修に巨額の資金が必要になる。以前は30億円だったが、今は50億円かかるとなっている。この金額は更に増えるのか伺う。

区長 コスト削減や工期短縮等に配慮しているが、パイプオルガンのメンテナンスが別途必要で、また、資材の高騰もあるので経費等を含む工事の詳細は設計の際に改めて精査する。

井上 施設の利用者の多くは区外からである。受益者負担の観点から利用者から改修費を回収するべきと思うが見解を伺う。

区長 受益者負担に加えて、区内外からの寄付の受け入れなど様々な方策を検討する。

井上 改修事業の実施で、福祉・教育などの予算に影響がでる可能性が大きいが見解を伺う。

区長 財源は、基金や起債を活用して区民サービスに影響が生じない様に努める。



写真：11月定例会で質問する井上ノエミ議員

墨田区保健所長の西塚至医師が東京都に栄転!

2020年4月に墨田区保健所長に就任してから、新型コロナウイルス感染症のPCR検査の拡大、入院待ち患者ゼロ、100%ワクチン接種など数々の対策を実施し区民の生命を守った、墨田区にとっては大恩人の西塚医師が、東京都の新型コロナウイルス感染症対策担当部長に栄転しました。全国に「墨田区モデル」と知られる新型コロナウイルス感染症対策を企画立案して実現した立役者の西塚医師は、現在は東京都の新型コロナウイルス対策の責任者として都民の生命を守る責務に邁進されています。西塚医師、ありがとうございます。

令和4年11月区議会定例会 井上ノエミ質疑

中学校の英語教育:英語の墨田の実現を!

新しい学習指導要領が導入されて、中学校の英語教育の内容が難しくなりました。習得する単語数も増えたので学習についていくことが難しくなったと思います。都立高校の入試ではスピーキングテストも導入されましたので学校でのスピーキング指導も重要です。小中学校での英語教育に力を入れて英語の墨田と言われる様になってもらいたい。

井上 新しい学習指導要領で英語がかなり難しくなった。生徒の学習状況についてどの様に認識しているのか。

教育長 対話的な言語活動をいっそう重視した指導を行い 授業改善に努めている。その結果、令和4年度の「墨田区学習状況調査」では、全国平均正答率を上回る成果がでている。

井上 授業についていくのが困難な場合はどの様に対処しているのか。

教育長 放課後学習において、生徒の学習状況に応じてタブレット端末でのデジタルドリルを活用したりして個別丁寧な指導を行っている。

井上 都立高校の入試に英語のスピーキングテストがある。学校でのスピーキング指導での成果は上がっているのか。

教育長 外国人教師による指導や動画教材の活用でスピーキング力が高まるように指導している。成果として、「話す」だけでなく「聞く・読む・書く」の4技能がバランスよく伸び学習成果が上がった。

園児不足の区立幼稚園をどうする!!

墨田区の区立幼稚園に入園する子供が減っています。これまでも定員の60%程度しか埋まらない状況が続いています。

令和5年度も定員210人に対してこれまで53人しか応募していません。(令和4年11月末現在)働く母親が増えて、幼稚園が社会的ニーズに合わなくなってきています。また、私立幼稚園の経営を圧迫するという理由で、教育内容を刷新して魅力ある幼稚園を作ること出来ないというジレンマを抱えています。定員に満たなくても施設の維持管理、職員の給与と区民の皆様の税金は使われます。教育委員会は区立幼稚園をどうするのかしっかりとしたビジョンを早急に作る必要があります。

高齢者をねらったお金の依頼の電話に注意!

ご高齢者の財産をねらった電話による詐欺が増えています。息子や孫、警察や役所などと名乗り、お金を要求します! そんな電話があったら、お金を渡す前にまず家族や知人、警察に相談して下さい! 自分の老後の資金を守りましょう!



多文化共生社会の実現と東京2020大会のボリビアとのホストタウン事業について質問

(令和4年11月定例会 井上ノエミ 一般質問)

区内には1万人近い外国人が在住しています。また、墨田区には世界の各国から多くの観光客が訪問します。世界の様々な異なる文化を理解して、外国人と共に安心して暮らせる墨田区を作る必要があります。区長は外国人に対する対策について、「NPO等と連携を深め外国人と共生していく環境を整える。」と述べています。



写真:隅田公園にて、山本区長と外国人グループ

また、ボリビアとのホストタウン事業では、山本区長は、「東京2020大会でボリビアが本区のホストタウンになったことは、文化や人のつながりの輪が大きく広がる契機となったので、今後もレガシーを継承する。」と述べた。



写真:小野村ボリビア特命全権大使が赴任の挨拶に来訪

- 区民福祉委員会
- フードロス削減対策特別委員会
- 墨田区社会福祉事業団評議員
- 障害者施策推進協議会

プロフィール



ホームページ ▶ <http://inouenoemi.com>
ブログ ▶ 墨田区議会議員井上ノエミ



南米ボリビア生まれ。大学卒業後エコノミストとしてボリビア中央銀行、国連事務所勤務。平成7年来日。平成21年、南米諸国との交流を促進するNPO法人「日本ラテンアメリカ友好協会」を墨田区に設立し、理事長に就任。平成22年、日本国籍取得。平成23年、墨田区議会議員に初当選。現在3期目。